

# おもいやり

— 中央東地区社協だより —

## 第56号

発行 中央東地区  
社会福祉協議会  
事務局 鎌ヶ谷市東初富  
1-10-1  
(東初富公民館内)  
電話・FAX 442-5144  
編集 広報啓発委員会

# 明るい住みよい街づくりをめざして



5月15日に中央東地区社協の本年度第1回運営委員会が開かれました。昔の資料をひも解きますと、中央東地区社協の発会式が平成3年4月25日に挙行されており、今年から自治会連合協議会に設置された福祉委員会を中心に関連機関と協議を重ね、地域別に地区社協を発会することになったと記されております。昨年、平成7年から会長を歴任された笹川種夫さんの後を引き受け、今年も継続することになり、責任の重大さをひしひしと感じております。

地区社協の運営委員は自治会、民生委員・児童委員、その他ボランティア団体などから選出された人たちが構成されていることは昔も現在も変わりありません。地区社協は、地域にお住いの皆さんが相互に協力しあつて、安心・安全の住みよい生活ができる街づくりの足場を目指して設置された組織です。現在、選出されたメンバー40人ほどで活動しています。

活動の目標に変化はありませんが、地域の具体的な福祉ニーズは時代の流れと共に変わってきています。皆様からのご要望をいただきながら、時宜に合わせた活動をしたいと思っております。「支援」と「協力」をお願いします。

中央東地区社協の活動範囲は

鎌ヶ谷東第1区連合自治会・東武鎌ヶ谷自治会・南初富連合自治会です。

### 地区の防災意識と防災力を高めよう

河井 務

3月11日(金)午後2時46分、東日本大震災が起これり、国内史上最大マグニチュード9、震度7強、全国の皆さんが大変驚かれたと思います。

千葉県でも石油コンビナートの火災、浦安・我孫子の液状化、旭市の津波等大きな被害が出ています。鎌ヶ谷市でもブロック塀の倒壊、屋根瓦の崩れ等他人「ことではありません。

「自分の身は自分で守る」「自分の地域は自分たちで守る」など自助・共助の心で自分たちの街を守り、隣近所とのコミュニケーション、挨拶運動、お年寄りの見守り等深めてまいりましょう。いざという時のために、日頃の備えとして、非常持ち出し物の準備、家具の固定、出口の確認、また避難場所、家族との連絡場所などを家族で話し合っておいてください。

中央東地区社協では5月18日(水)市消防署の指導のもとで防災訓練を実施しました。消火器の取扱、応急手当「三角巾の利用法」、「鎌ヶ谷市の防災対策について」の講演がありました。

中央東地区社協としても防災倉庫を東初富公民館の裏に設置、防災用備品も多数準備出来ています。今後訓練等で使い方、点検、管理など話し合っていきたいと思えます。自主防災組織として防災訓練を実施している自治会もいくつかあります。その時は、皆さん進んで参加して下さい。  
(自連協安全委員)



防災備品の点検と担架の訓練をかねて

### 新任保健師の紹介

中村 友理子(担当地区)



初富 一部地域  
南初富一〜三丁目  
東初富一〜二丁目

林 恵利(担当地区)



東初富三〜六丁目  
東鎌ヶ谷 全域

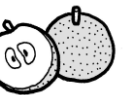
連絡先 市役所 健康増進課

電話 四四五-1141

(内線 七三五)

### 梨狩りのお知らせ

高齢者と障がい者のふれあい祭り  
日時 9月3日(土)10時〜  
※詳細については自治会の回覧を「覧下さい



### ◆寄せられた善意

ありがとうございます

- ・笹川 種夫 様より 80000円
- ・ひょうたんクラブ 様より 30000円
- ・匿名様より 切手等 23300円

### ◆シーツ交換ボランティアさん募集

場所 特別養護老人ホーム翔裕園  
毎月 第4水曜日(8月・12月除く)  
午前10時〜12時頃  
持ち物 室内履きエプロン  
(中央東地区社協) ☎四四二-5144

### 【編集後記】

「支えあいの地域づくり」は地域福祉の標語ですが、震災騒ぎの今ほど皆が「そうだ」と声をそろえる時期は、なかなかないでしょう。マスコミだけでなく、顔を合わせる人から「支えあい」の話題が聞こえるようになりました。

### 新年度を迎えて

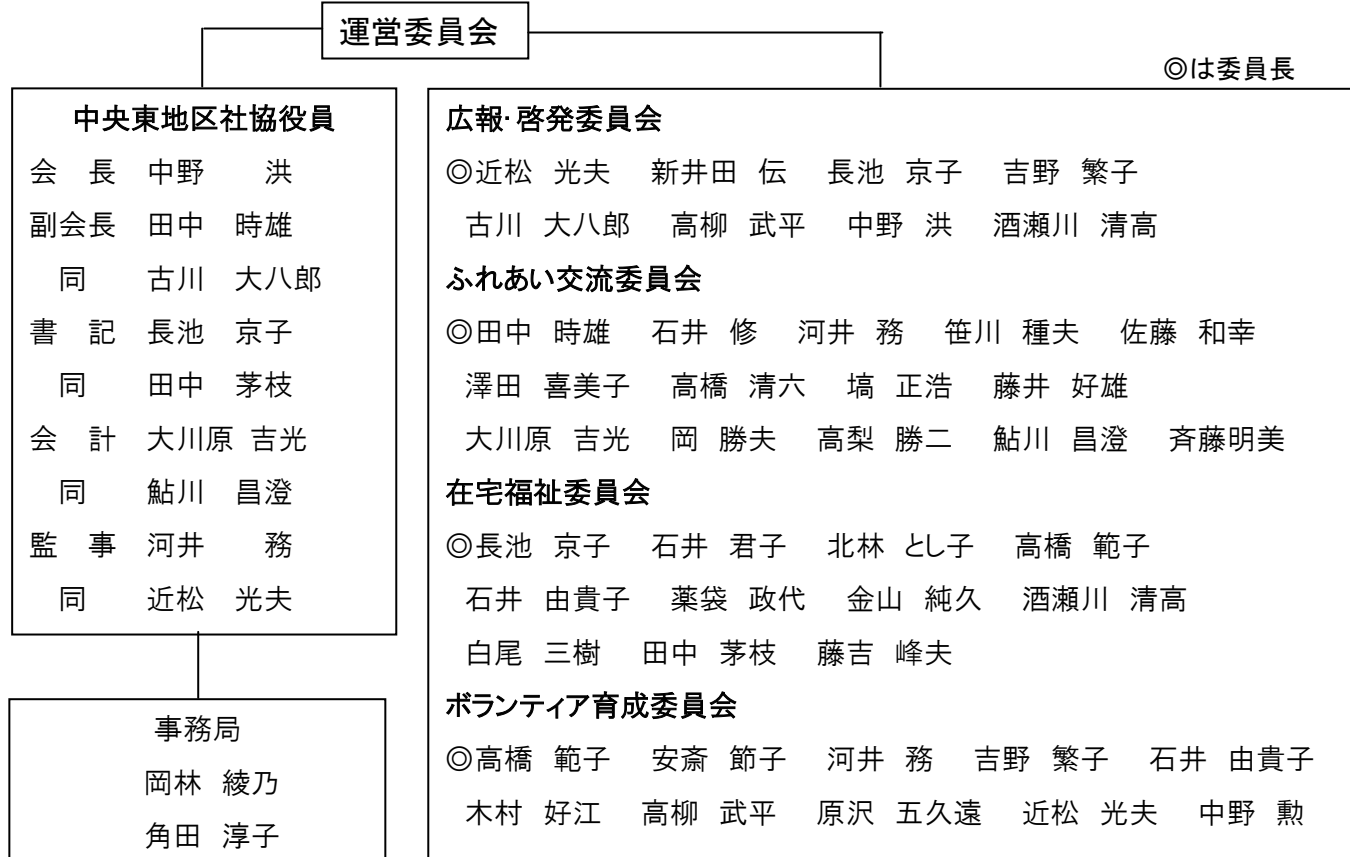
中央東地区社会福祉協議会

会長 中野 洪



# 中央東地区社協の新組織

5月15日第1回地区社協運営委員会で、2年ごとに改選された役員並びに各委員会委員が決定しました。



**福祉教育推進団体として指名を受け**  
**地区社協が小・中・高校と連携**

全国社会福祉協議会では昭和40年代から福祉教育を社協活動の柱のひとつとしてさまざまな取り組みをし、昭和52年から児童・生徒のボランティア活動普及事業が開始され、小・中・高校に対する協力校を指定して福祉教育を充実してきました。平成13年学校教育法などの改正があり、地域の教育力の活用や地域資源との連携を通して、児童・生徒への福祉に対する学びと実践の充実をめざす動きに代わってきました。千葉県では県社協が平成19年から指定推進校の連携を図り、子どもが発達段階に応じた福祉教育の実践をより効果的に進めるために、中学校区の小・中学校を、併せて近隣の高等学校も指定。さらに、学校と地域との連携と福祉教育をより一層推進するため、指定中学校区の地区社協を福祉教育推進団体として「福祉教育パッケージ指定方式」を展開してきました。

鎌ヶ谷市では昨年、第五中学校が指定され、初富小学校と県立鎌ヶ谷高校とともに中央東地区社協が3年計画でパッケージ指定され、福祉教育推進連絡会議を立ち上げました。

昨年は指定1年目で、2年目以降に取り組み共有プログラムの検討・作成の期間でした。その間、(福祉教育)を支援できる福祉教育推進員養成研修にも地区社協各委員会委員長を中心に参加しました。本年も新任の委員長を中心に福祉教育推進員養成研修に参加する予定です。現在、学校との具体的共有プログラム作成の最終段階です。今後の地区社協の行事は今まで以上に児童・生徒の参加が多くなると思います。皆様のご協力をいただきたいと思います。

# 平成23年度中央東地区社協の活動計画

高齢化率の高い地域の当地区社協では、各委員会活動の重視と「地域の支えあい」を推進する新しい取り組みを検討し、自治会、ボランティア団体、福祉施設及び学校との連携を密にして地域福祉の充実に努めます。

## ふれあい交流委員会

- ◇ふれあい祭り(梨狩り) 9月3日(土)  
高齢者・障がい者を対象
- ◇ふれあい祭り(クリスマス会) 12月4日(日)  
高齢者・障がい者・子どもを対象
- ◇交流研修会 9月21日(水)



## 在宅福祉委員会

- ◇援護グループ勉強会「災害時の対応訓練」 5月18日
- ◇介護予防教室「ウォーキング」東鎌ヶ谷方面6月15日  
「家庭介護の方法」 10月20日(木)  
「健康体操」 11月25日(金)  
「病院講演会」 2月
- ◇サロン活動 検討



災害時の対応訓練

## ボランティア育成委員会

- ◇シーツ交換支援活動  
翔裕園 毎月第4水曜日
- ◇青少年福祉活動 7月9日(土)・12月17日(土)  
生徒からひとり暮らしのお年寄り、難病の方へ送るハガキ作り(暑中見舞・年賀状)
- ◇小学生とお年寄りの交流会(五本松小・初富小)
- ◇地区ふれあい員の交流会 検討



## 広報・啓発委員会

- ◇広報紙「おもいやり」56号発行:7月25日 57号:1月
- ◇地区社協ホームページの作成 検討
- ◇展示パネル(地区社協紹介)作成
- あじさいグループ(ミニリハビリ教室)**  
 ◇清掃活動・風船バレー・じゃがいも収穫祭 等  
 東初富公民館 毎月第4火曜日
- 福祉教育推進**  
 ◇初富小・五中・鎌高とのネットワークで  
 福祉教育の推進を指定団体として支援  
 ◇福祉教育推進員の養成研修に参加